

Cafe Voix

《聲のアトリエ》

nini-nga-ni

いまこそ渡れ、アンファン・テリブル／めざましき子らよ、
詩と画の潮目を、ジュネとジャコメッティの離岸流を、いまこそ渡れ

2017/9/15 Friday

18:00開場／18:30開演(21:00終演予定)

会場 八戸ポータルミュージアム はっち
〈シアター 2〉

学生 1,000円 〈前売り 800円〉
一般 2,000円 〈前売り 1,800円〉

■前売券取扱い

はっち IFカウンター
ダンスバレエリセToshima ほか

■問合せ

ダンスバレエリセ Toshima
090-2998-0224 (高沢)

主催 ▶ DanseBalletLycee Toshima +
molecular theatre読書会〈addoction〉

助成 ▶ 八戸市まちづくり文化推進室

出演 1

Prelude 18:30スタート

河村 恵里『月と虎落(もがり)笛』
佐々木美玲『雪夜叉』
杉澤 沙耶『テラモーネ(人柱)・慈雨』
山田 菜月『鳥葬の雲』
早川 葵『Bateau en Luciole(螢舟)』
橋本和佳奈『人称と所在[ter]』 ほか

出演 2

CafeVoix レクチュア
『足(ピエ)と台座(ピエDEST)』

鶴飼 哲(哲学・都内在住)

出演 3

高見順賞詩篇による Theater-piece 上演
【nini-nga-ni】

早川葵・河村恵里・沼端ももこ・
橋本和佳奈・田島千征・大久保一恵 ほか

出演 4

CafeVoix トークセッション
『砂漠のプラトー』

齋藤恵美子(詩人・横浜)
伊藤 二子(造形家・八戸)
佐山 則夫(詩人・仙台)
鶴飼 哲(哲学・都内)
司会進行 豊島重之(美術展キュレーター・八戸)



2017年3月 高見順賞受賞作:齋藤恵美子詩集『空閑風景』(思潮社刊)に基づくシアターピース【nini-nga-ni】趣旨:

▶ 第一ステージは読書会。題材は現代詩の最前線『空閑風景』。読書会ユニット名は、diction (発声法) とaddiction (依存症) からなる造語 (addoction)。第二ステージは朗読会。著者 (詩人) 自身の黙声の奥地に分け入っていくことで、朗読者自身の「これまで一度も聴いたことのないVoix」を捕獲する試み。

▶ 「聲」の字形だけで内在/反内在に触れる/震えることがある。耳=耳石の骨伝導性共振体なしに「Voixの投擲=プロジェクション」は成されないから。加えてVoixに基づくシアターピース上演を第三ステージとすれば、この一連の三層プロセスが《聲のアトリエ》全体趣旨とも照応するからだろう。

▶ 【nini-nga-ni】=ににんがに (2×2=2)。「双対性の割れ・壊れ」に企まれた痛快なる行き違い。〈addoction〉クルーによって収録された音声CD『襟沢～不眠と鉄塔～静かな使者』を聴取しつつ、聴取に身体を根こそぎ奪われたまま、舞台上にdark matterをどう移築できるか。そっとdark matterを舞台上に寝かしつけるような離れ業が求められている。

▶ プロジェクショナーとプロジェクティルによる「2・2」の複奏・裂断。前作【nino-mai】公演を「前方への反復」として裏書きされる「ジャメヴェュ=未視体験」とでもいおうか。投光面に捕獲される群れもまた、BlindnessとStillnessの前方に徹するほかはなく、一ならぬ二の舞いに窮するほかはない。アンファン・テリブルの果芯をくゆらせる、深更の標本箱にピン留めされた渡り蝶アサギマダラの群れもまた。(豊島重之)

トーク講師紹介



鵜飼哲 UKAI Satoshi
 テリダ哲学の泰斗。一橋大学大学院言語社会研究科教授。著書・訳書に『ジャッキー・テリダの墓』・ジュネ『アルベルト・ジャコメッティのアトリエ』・テリダ『生きること学ぶ、終(ついに)に』ほか。豊島重之キュレーションによるICANOF展@八戸市美と、伊藤二子展@ほっち、には毎年欠かさず再訪。



齋藤恵美子 SAITO Emiko
 詩人。詩集に『集光点』『ラジオと背中』(芸術選奨新人賞受賞)ほか。2017年3月、臨海工場地帯を渉猟した最新詩集『空閑風景』により高見順賞を受賞。リセ+モレキュラー観劇とともに、三陸海端エリアの北端に位置する種差海岸遊園が、初来八の愉しみの一つとす。



伊藤二子 ITO Tsugiko
 造形家。2007年銀座井上画廊で個展: 鵜飼哲・八角聡にトークの場(豊島重之司会)で二子作品を「顔貌性の絵画」ならぬ「絵画の頭部」と捉え返す視点が提起された。2011年青森県立美術館『伊藤二子と八戸』展ほか。今年もシアター 2で9月16・17・18日に。その前夜祭がCafeVoix。



佐山則夫 SAYAMA Norio
 詩人。詩集に『君かねウマーノフ』『國安(くにやす)』ほか。1967年、高校在学中に阿部一治とタダ系同人誌『自由意志』刊行。翌68年「仙台西公園野外展」で豊島と遭遇。半世紀ものアムネシア。2017年3月、佐山の導きで豊島が阿部墓参を果たす。



豊島重之 TOSHIMA Shigeyuki
 美術展キュレーター。モレキュラー演出家。共著・編著に『種差の世紀/種差四十四連図』『種差Enclave/矢野静明作品集』ほか。2016年『種差デコンタ』@八戸市美を手がけ、美術批評家榎木野衣による展評が「ART IT」に三回連載され話題をまいた。

